

西部就労支援部会・美馬市つるぎ町こども部会 合同会議

令和7年11月28日（金）

13時30分～

1. 各種制度説明

○障がい者相談支援・就労系サービスについて

社会福祉法人徳島県手をつなぐ育成会 相談支援センターイノセント

所長・主任相談支援専門員 田岡泰典氏

○障害者就業・生活支援センター事業、就労選択支援事業について

障がい者就業・生活支援センターはくあい 主任就業支援担当者 木村友則

○徳島県発達障がい者総合支援センターアイリスについて

大森氏

- ・利用については、診断がなくとも、発達障害の疑いで利用することができる
- ・診断をする機関ではなく、困りごとに対応していく機関である

○徳島県立穴吹高等学校、通級について

正木氏

- ・令和7年度から通級開始、卒業の単位に含むことができ、2年生以降に選択できる
- ・5月に案内し、7月ころに希望を受けて次年度に自立活動が受講できる
- 体幹トレーニングは姿勢を正して立ち仕事に備え、ねじの組み立てなどの練習をする
- ライフスキルトレーニングは、家事や炊飯食事などの練習
- ジョブスキルトレーニングは、どんな仕事に就くかなどの練習
- ・現在通級が12名おり、3年生9名のうち5名進学、就職1名、福祉的就労は1名、未定が2名
- ・高校に来る求人は一般企業からの求人のみで、手帳利用時の対応は、主には相談

2. 事前質問回答について

○手帳が非該当の人について、どのような支援が必要か（回答：支援学校本校 阿部先生）

…障がい者雇用か、一般企業で支援を受けるか、クローズで就労していくかによって、支援の仕方が変わってくる。

本人の支援ニーズを医師（手帳情報や診断）を通して把握していく

- ・障害者手帳があることで、学校ができること

支援学校では、高校1年生の時期から、就労に向けて、あいさつや返事などの指導などから進めている。とくに現場での実習が大事現場での実習は、初めは教員付き添いしている。

- ・進路相談（実習の流れ）

2年生の終わりの時期に進路相談し、できればそのときに進路を決めてもらう

3年生で、2年時と同じ会社で実習をしていく（1年生後期から順当に行くと計3回の実習）

進路を決めきれない人は、別の実習先もありうる

○内定後、入社までにどのような準備がいるか（回答：ハローワーク美馬 竹島様）
ハローワークでは、体調管理やあいさつや返事、通勤の経路や方法の確認などを意識してもら
い、職業生活の訓練をすすめている。
雇用率の上昇もあるため、企業側の障害理解は得られやすい状況。

3. グループワーク

テーマ：①障害のある人や家族の対応 ②本人家族が一般就労を希望している場合の対応

1班

①について、アイリスや職業センターの利用を通して保護者に興味を持ってもらい、
支援について話しをしていくのが良いか。
②については、「やってみてからの相談」になるが、将来的にうまくいかない場合には
アイリスなどの利用に繋がるか…

2班

②について、自己と他者の評価が合わない、コミュニケーションに課題があると就労が
難しい（危ぶまれる）。
家族の助けもあまりなく相談する場所がないし、わかりづらい。
相談できる事業所を伝えていき、支援者も、相談できるツールを知っておくとよい。

3班

①手帳を持っているか否か相談支援事業所に情報を持ちかけ、その後のコーディネートを
相談するのが良いか。
就業・生活支援センターで生活面の相談もしていくのが良いか。
引きこもりになってしまった事例があるが、本人に困り感がない。
本人に相談先を伝えるか、（相談時の）チェックシートがあれば良いか。

4班

①手帳の状況について、三好高校の竹岡先生から説明
手帳が取れそうな生徒は、全校生徒80名のうち10名ほどいるが、高校合格とともに
「手帳いらない」という家庭が多い。
高校側がフォローをして進級できているが、本人や家族がそれに気づかず困り感がない。
「できている」と思っているか…
②について、療育手帳がある人は職業評価も選択肢。精神保健福祉手帳の人は、ハローワーク
の主治医の意見書をもとに相談するが、「フルタイム就労可」とお墨付きをもらうことも。
手帳取得のための手続き自体がハードルに感じる人は、それが支援のニーズになるか。
地域で困り感が増えている人がいる。横の連携で相談できるようになるとよいか。

5班

支援が必要な人について、保護者との関係で支援を継続するのが難しい場合がある。
「高校に合格したので手帳はいらない」という家庭がある。
学校で引継ぎファイルを作っているが、引継ぎが難しい場合もある。
保護者に支援の必要性を伝えづらいが、「フォローありきで色んなことができている」という
ことを伝えることで、支援のニーズにつながることがある。ヘルプの出し方について、
「分からぬことは分からない、と言ってもらった方がよい」と、しっかり伝えている。